

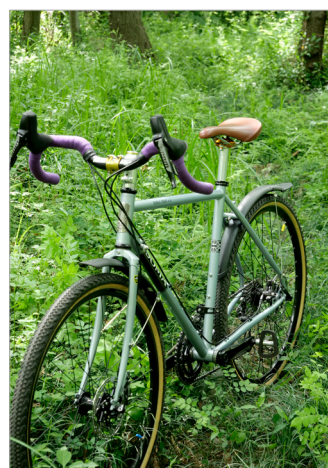
【ワンバイエスの泥除け】



▲ JFF#701D に S サイズを装着、タイヤは想定最大の 700x30C タイヤ



▲ JFF#701D に M サイズをセットし実測幅 34mm の 700C タイヤを装着



▲ SOMA フレームに 650Bx42mm タイヤを装着して L サイズをセット



▲前後ともに下側アイレットが無い一般的なタイプにはスライド可能なブラケットで装着

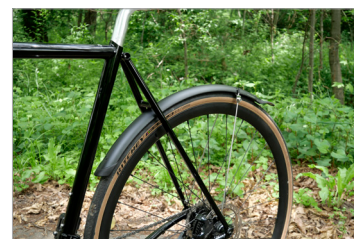
◀スライド式ブラケットは位置を定めた後、フェンダーと接着させることで衝撃でもズレません

ワンバイエス「JFF Ti・JFF #701D」(Vol.21・27 掲載) フレームはオールラウンドディスクモデルです。多様性のあるフレームですが、備えは過多にならず、作業も目立たないことを信条に設計しました。

日本の土地気候で走行する中、タイヤからの水泥跳ね飛沫を抑止したいならば、フェンダー(泥除け=マッドガード)を装着する必要があります。ワンバイエスではフレームに目立たないアイレットを設けると共に、美観を保ちつつ利便性を持ち合わせ跳ねをある程度抑止するミドルサイズのフェンダーを 3 サイズ企画しました。



▲クラウンに貫通穴のあるフォークではスライド可能なブラケットにより取り付けます



▲タイヤに沿ったラインとマットカラーが、目立たないシートステーブリッジ下側アイレットによって、より車体に溶け込んだ風合いに



▲フォーククラウン下側にアイレットを設定したモデルは更にスマートな装着が可能です、下側アイレットタイプにはフェンダーに 5mm の穴を設け取り付けます



▲タイヤ外周の多くを覆い美しいものの、取付けの難しさや輪行など車輪を外した際に手間のかかるフルフェンダータイプや、美観に劣り抑止範囲も少ないものの、簡単装着など利便性の高い製品もありますが、ミドルフェンダーはある程度の抑止をしつつ美観を損ないません



Dixna (ディズナ) のフェンダー「ロードフェンダー」(左)と「クラウドリフト」(右)にもマットブラックカラーが登場しました



ワンバイエス スーパーステム シルバー

2020 年 11 月に発表しましたシルバーモデルがようやく出来上がりました。時勢による影響も受けながら、仕上げが思いの外に難しく今に至った次第です。サイズは 90mm から 120mm まで 10mm 刻みとなります。